

実験のコツ、失敗・成功談



皆様の日々の研究の中で、「こうやったら実験がうまくいった。皆この方法を使えばいいのに…」とか、逆に「あの方法には、実は○○○という欠点が潜んでいる。他の人が失敗しないように、伝えたいのだけれど…」といった思いを他人と共有したいという潜在的な要望をお持ちの方は意外と多くいらっしゃるのではないかと思います。このコーナーは、そのような皆様の事例を掲載させていただくことで、今まで共有できなかった情報を共有することを目的としています。

「簡単！細胞バラバラ法」 匿名希望 kssxさん

数々の実験に使用されている培養細胞。細胞がほぐれなくて、何度も何度もピペティングしていませんか？ それでもほぐれない細胞はありませんか？ そんな、苦悩を一気に解決する方法を紹介します。

用意するものは10mlディスプレイサブルピペット(5mlでも可、私はグライナー製を使っています)と黄色チップです。まず、トリプシンで細胞をはがし、培地を加えるところまでは今までどおりに行ってください。

さあ、ここから本番です。深呼吸してください(とくに意味はありません)。黄色チップを10mlピペットの先端に装着します。これで準備オケー。あとはピペティングするだけです。驚くほどほぐれます。ほぐれにくいHepG2でも5、6回でバラバラです。はじめて後輩に見せたら、『何十回やったんですか!!?』って驚いていました。

細胞がほぐれなくて困っていたらぜひ試してください!

ちなみに、これまで試してみたのは、HepG2、Cos1、Huh7、HeLaぐらいですが、細胞外刺激に弱い細胞以外は問題なく使えると思います。ラットの初代培養肝細胞も問題ありませんでした。トリプシンで凝集しちゃった場合なんかにも使える(細胞が全く同じ形質を保てるかはちょっとわかりませんが…)と思います。

編集部からのコメント:色々試されて実績を積まれた方法のようですので、一度試してみる価値はありそうですね。特に、細胞をスクリーニングする場合などに力を発揮するはずですよ。



実験川柳特集 7

本コーナーは、弊社ウェブサイト(www.toyobo.co.jp/bio)「読者のコーナー」で最新の作品を確認いただけます。

七夕に ボクのバンドは 流れ星

匿名希望 キミにあらびの冠を さん

●キミにあらびの冠をさんのコメント:スメアが流星のように。

【句評】 PCRのスメアですね。我々の研究所では、この現象を「オーロラ」と呼んでとても恐れていました。それにしてもきれいな句ですね。夜空が目に見えようです。

なぜ消えぬ? ノックダウンは俺の方

匿名希望 迷える苦学生 さん

●迷える苦学生さんのコメント: siRNAをトランスフェクションしても消えないむなしさを愚痴ってみました…

【句評】 遺伝子のノックダウンと掛けたわけですね。でも、siRNA技術ってすばらしいですよ。最初に論文が出たときは、思わずウソ! と思いましたが、本当でした。

siRNA(エスアイ)の 結果次第で 俺も消え…

匿名希望 切り捨て御免 さん

【句評】 まだ研究室にいらしたんですね! MASSが飛んだと思ったら(UPLOAD Vol.88参照)、今度はsiRNAですか。また試練が訪れたら投句をお願いします。

配列に 夢を絡めている ヒト科

匿名希望 海光 さん

【句評】 うーん。これぞ、ロマンという感じの川柳ですね。確かに、遺伝子って単なる記号ですよ。でも、30億の内の1つが置換しただけで病気になることがあるわけですから、深く考えるとすごいことですよ。

⇒弊社ウェブサイト(読者のコーナー)からご投稿、投句いただけます。

<http://www.toyobo.co.jp/seihin/xr/lifescience/tech/reader/contribute/index.html>

採用になった方には、図書カード(実験のコツ、失敗・成功談:¥10,000、実験川柳:¥2,000)をご進呈いたします(詳しくはサイトをご覧ください)。奮って投稿・投句ください。